

2024 年 4 月 22 日
一般財団法人 海外産業人材育成協会

貸切バス手配に係わる包括契約 仕様書

1. 本件「貸切バス手配に係わる包括契約」（以下「包括契約という」）の対象範囲について

1) 対象期間：2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日

本契約の期間満了 1 ヶ月前までに甲乙いずれからも変更の意思表示がない場合は、随意契約の方法により契約を 1 年間更新することができる。ただし 3 年目の契約更新はせず、新規に契約先の選定を行う。

2) 利用目的：一般財団法人海外産業人材育成協会（以下「AOTS」という）が実施する研修事業において、下記のために利用するもの。

(1) 東京研修センターや他部署（グローバル事業部、関西研修センター等）が実施する研修コース参加者等が、産業施設等の見学のための移動交通手段として貸切バスを利用する（以下「企業等見学」という）

(2) 成田国際空港または東京国際空港を利用する外国人研修生等が、空港と東京研修センター等との間の移動交通手段として貸切バスを使用する（以下「空港送迎」という）

3) 対象地域：東京都内、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県を発地もしくは着地又はその両方とするもの。

2. 貸切バス手配の共通基本条件

(1) AOTS は、貸切バスの手配を、利用日の 7 営業日前までにメール又は FAX で申し込む。

(2) 上記 1 の対象範囲における AOTS からの貸切バス利用の申込みについて、本件包括契約の相手先業者（以下「契約業者」という）は AOTS に対し、その配車・運行を 100% 保証するものとする。その際、契約業者が自社で所有する一般貸切旅客バスのみならず、他社所有の一般貸切旅客バスの使用を妨げない。但し、この場合の他社は公益社団法人日本バス協会会員とし、契約業者が AOTS に対し、その手配したバスの整備・配車・運行についての管理責任を負うものとする。

(3) 実車時の有料道路通行料及び駐車料は、別途実費を AOTS が負担する（貸切バス利用料と合わせて後日 AOTS へ請求できる）。

(4) 法的に必要な場合或いは AOTS から特別に要請のある場合を除いて、運転手以外の乗務員は不要とする。

(5) AOTS は、バスの乗務員に対し、心付けや食事代は一切支払わない。

- (6) 貸切バスの利用料金について、AOTS は、貸切バス利用の都度 1 件毎に個別に発行された請求書に基づき、請求書日付の翌月末に指定された銀行口座へ振り込む。
- (7) 適正に整備・管理のなされた車輛により、安全且つ快適な運転を行うこと。
- (8) AOTS からの申込みを受諾した後、不測の事態により指定された時間・場所に配車でできなかった場合又は故障等により予定された運行ができなくなった場合は、速やかに代替の移動手段を手配すること。その為に生じる費用は契約業者の負担とする。

3. 企業等見学のための貸切バス手配の条件

- (1) 基 点：原則、東京研修センター（東京都足立区千住東 1-30-1）を発着地とする。
但し、AOTS の管理の下、上記 1-3) の対象地域内において、東京研修センター以外の施設（鉄道駅又は宿泊施設等）を拠点として研修コースを実施する場合には、その拠点を発着地とする。
- (2) 行 程：全行程 15～100 キロ程度
- (3) 目的地：原則として、上記 1-3) の対象地域内にある企業の工場や公共施設等の産業・社会施設又は寺社仏閣等の文化施設
- (4) 利用時間：
 - ① 半日（6 時間以内） 原則 07:30～13:30 又は 12:30～18:30 の間
 - ② 一日（10 時間以内） 原則 08:00～18:00 の間
- (5) 利用日：原則として月曜日～金曜日。土日に利用する場合もある。但し、年末年始及びゴールデンウィークを除く。
- (6) 乗車人数： 10～50 名程度（外国人研修生、引率職員、通訳）
- (7) 年間利用回数見込み：140～180 回程度

4. 空港送迎のための貸切バス手配の条件

- (1) 行程：下記のいずれかの片道
 - ① 往路：成田国際空港または東京国際空港 → 東京研修センター
但し、研修参加者の宿舎が東京研修センター以外である場合は、その宿舎を着地とする。
 - ② 復路：東京研修センター → 成田国際空港または東京国際空港
但し、研修参加者の宿舎が東京研修センター以外である場合は、その宿舎を発地とする。
- (2) 利用日：
 - ① 往路：通年。日曜日又は火曜日が多い
 - ② 復路：通年。土曜日又は水曜日が多い。
- (3) 乗車人数：10～30 名程度（原則、外国人研修生のみで、職員や通訳は同乗しない）
- (4) トランクルーム付とする。
- (5) 往路においては、別途 AOTS が手配するミーティングサービス会社等の職員が、又は、復路においては、AOTS 職員等が、手配した貸切バスまで誘導・案内し、外国人研修生の乗車支援、点呼確認を行う。
- (6) 年間利用回数見込み：往路・復路合計 20～40 回程度

5. 守秘義務・個人情報の取り扱い

- (1) 業務の遂行上知りえた業務上の情報を、開示・漏洩してはならない。
- (2) 契約時に、AOTS の提示する「個人情報の取り扱いに関する覚書」を取り交わし、その内容に沿って業務を遂行する。

上記 3. ～4. の年間利用回数は参考数値であり、契約期間内の業務量を保証するものではない。

以 上